



芸術文化振興基金助成事業

八女津媛神社 創建719年
令和元年1,300年記念



5年に一度の公開

福岡県指定無形民俗文化財

心に響く悠久の舞

八女津媛神社の浮立



期日

令和元年 **11月17日(日)**

場所

八女津媛神社
矢部川源流公園

八女市矢部村北矢部神窟
八女市矢部村北矢部鬼塚

時間

午前 9時30分～
午前 10時～
午後 1時30分～

道囃子
八女津媛神社境内 奉納公開
八女矢部まつり会場(矢部川源流公園)公開

主催：八女津媛神社浮立保存会 後援：八女市／八女市教育委員会／八女矢部まつり実行委員会
お問い合わせ：浮立保存会(会長：栗原久助0943-47-2121)または八女市役所矢部支所総務課(0943-47-3111)

八女津媛神社の浮立

| | |
|------|---------------------------------|
| 開催場所 | 八女市矢部村北矢部字神窟 八女津媛神社境内・八女矢部まつり会場 |
| 開催日 | 11月17日(日) ※5年に1回開催 |
| 指定 | 福岡県指定無形民俗文化財：昭和51年4月24日指定 |

浮立について

八女津媛神社は、八女地方の古い地主神と考えられ、八女の名の起こりとされている。八女津媛神社の浮立は、神社に五穀豊穡や無病息災を祈願し、その御願成就に奉納する行事。浮立は、県内でも最大規模の祭りで、筑後地方各地に伝わる風流の集大成とされた形と考えられる。祭りは、七戸の神課(神家)によって代表され、編成は、笛方、真法師1名、太鼓打2名、小太鼓打2名、鉦打2名、むらし2名、猿面2名、御幣持1名などの外、思い思いに仮装した老若男女が囃子方に多数参加する。現在は、伝承活動として、小学生、中学生により、毎年11月の矢部まつりに披露。八女津媛神社氏子による本来の浮立は、5年に1回奉納公開される。本年が公開の年となる。

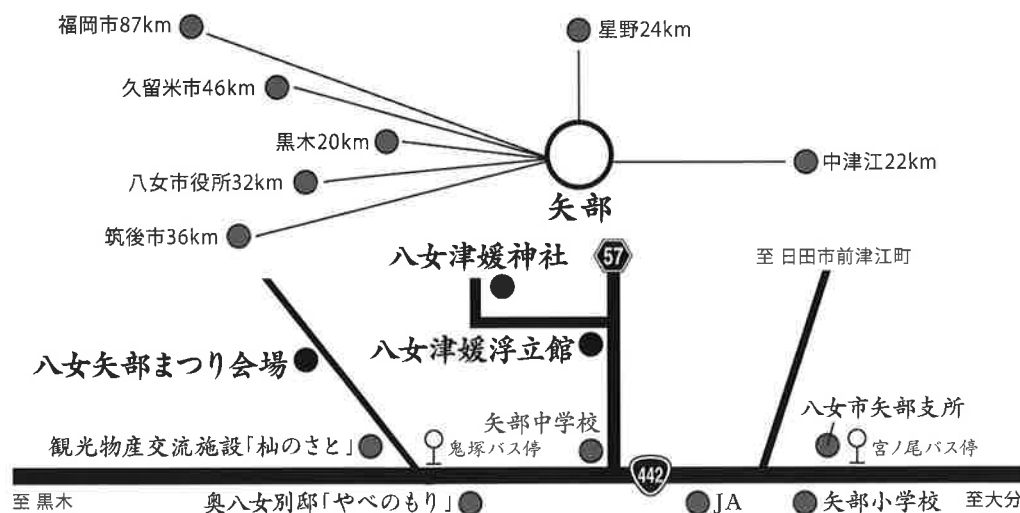
八女津媛は景行天皇巡行の時、この地に女神あり常に山中にあると奉上。其の名を八女津媛と云うと奉上したことから八女の地名が起こったと云う伝説があり、平安朝末頃600~700年前から浮立奉納が始まった。

昭和3年に実施されたのを最後に、第二次大戦後まで休止。昭和26年1月より復活し、以来不定期で開催されてきたが、それ以前のことは文献がなく不明である。昭和26年1月、38年12月、41年、43年、48年、以後5年ごとに公開され、前回の公開は平成26年。八女津媛神社の創建は養老3年3月(西暦719年)であり、今年1300年の節目の年を迎えた。

使用する祭具・道具など：大太鼓2、小太鼓2、鉦2、シンバル2組、竹笛20、七福神用衣装と面。

送迎バスのご案内

八女津媛神社にて見学ご希望の方は、八女矢部まつり会場から八女津媛神社境内へ無料で送迎いたしますので、八女矢部まつり駐車場へお集まりください。
運行時間：午前9時から午後1時まで



八女矢部まつり会場への交通アクセス

- マイカー：八女インターより国道442号を八女市街～黒木～矢部方面へ約60分
- 公共交通機関：JR鹿児島本線「羽犬塚駅」より堀川バス乗車約90分
「鬼塚」バス停下車(堀川バス八女営業所：電話0943-23-6128)